

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	市史編さん活動事業			会計	款	項目	大	小
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	図書・博物館				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成	主管課長	小栗 信一郎				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山の歴史を学習したい、興味・関心を持つ市民	意図	流山の歴史に関する資料及び研究成果を増加させるため。流山に関する市民の理解や郷土意識の向上を図るため。
事業内容	流山に関する史資料の収集・保管する。流山の歴史の調査・研究、古文書の解読を進め、その成果をもとに刊行物を作成する。市史に関わる講座を開催する。市史編さん審議会を開催し、事業の方向性を諮る。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和59年の機構改革に伴い、市史編さん室が廃止されて市史編さん係が設置され、各種の市史編さん活動を実施。平成14年度からは市史編さん係が学芸係に統合され、業務を担当している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	講座開催回数・講師派遣数	8	8	6	回	→→
②	講座受講者数	207	277	190	人	→→	
③	解読された古文書数	1,097	2,050	1,169	点	→→	
④	刊行物の数	0	0	2	件	→→	
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	9,242,654	10,272,331	12,750,155
事業費(b)(円)	3,403,204	3,915,951	5,030,175
うち一般財源	3,403,204	3,915,951	5,030,175
職員給与費(c)(円)	5,839,450	6,356,380	7,719,980
人役・職員(人)	0.40	0.40	0.63
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	2.55	2.82	2.23
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

・古文書講座（前期・後期）を昨年度と同回数開講予定であったが、講師都合により減少した。
 ・古文書解読については、堅実に解読を進めており、現状を維持している。
 ・『流山市史研究第23号』『ふるさと流山のあゆみ（改訂版）』を刊行した。

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	市史研究の刊行。古文書目録の整備・作成。	③取組における課題(Check)	未解読資料の解読を進める。資料公開に向けた準備を進める。
②H30に実施した取組(Do)	市史研究第23号を刊行し、古文書目録の整備を進めた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	古文書目録の整備・作成。